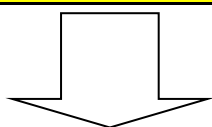
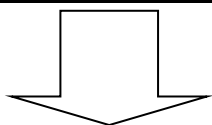


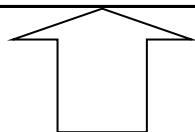
図書館サービスの の拡充	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 区民生活の課題解決のサポート</li><li>○ 印刷資料とインターネット等を組み合わせた情報提供</li><li>○ 資料の充実・レファレンスの強化</li><li>○ 学校図書館との連携</li><li>○ 開館日・開館時間の拡大</li><li>○ IT社会に対応した中央図書館の整備</li></ul>
-----------------	---



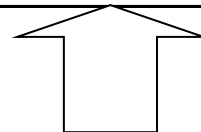
経費+人員 増



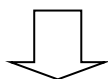
限られた財源・人員の中で  
利用者満足度の高い図書館運営



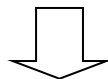
定型的業務の委託



機械化による省力化



公共図書館を行政以外に全部任せるのは限界がある



※ 行政として直接取り組むべきもの

- 公共図書館の本来持っている役割は継続性と専門性であり、選書や除籍はその核となる。
- 資料の充実、レファレンスの向上には行政があたり職員の専門性をより高める必要がある。
- 中央図書館と地域館の役割を明確にし、区が直接行う業務を決める必要がある。